

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード		24	事業名	個社支援への参画			戦略コード	3	戦略名	事業者が主役の商工会
担当部名	総務部		担当課名	総務・人材育成課	担当課長名	市井 仁	施策コード	12	施策名	トップマネジメント力の強化

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

商工会の組織運営や事業推進、地域振興等について、経営意識の希薄化や事務局主導の執行体制の現状がある。

2. 事業のねらい

事務局主導の執行体制を改善し、役職員がそれぞれの役割を果たし、事業者と地域の発展に寄与する組織の実現を目指す。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	B	H30		H31		H32	
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----	--

組織率向上が大きな課題となる中で、各商工会において、役職員一体となった会員加入促進を実施しており、会員数の増加につながっている商工会も出始めている。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

従業員一体となった取り組みを継続するとともに、平成30年度より「会員加入促進ガイドライン」に基づき、効率的かつ効果的な取り組みを実施することとした。また、役員セミナーのテーマを個社支援に繋がる内容とし、役員の意識の醸成を図った。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
57	個社支援に参画する仕組みづくり	役職員一体となった会員加入促進に取り組んだ。	a	a	a	A
58	役員セミナーの開催	新任会長セミナー及び監事セミナーを開催した。	a	a	a	A
59	役員による相談対応	青年部主催の「事業承継ネットワーキング塾」に商工会役員が講師として参画する等、組織運営のみならず経営支援に関わっていく動きが広がっている。	b	a	b	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	59					取組コード						取組コード					
指標名	役員による相談対応					指標名						指標名					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標	12件	15件	18件	20件	25件	目標						目標					
実績	15件	15件				実績						実績					
達成率	125%	100%				達成率						達成率					
達成度	a	a				達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合)

b

〈評価の理由〉

役員の組織・事業運営の参画意識を高めることは組織力強化に必要不可欠な取り組みとなる。特に、商工会役員が個社支援に参画することにより組織としての個社支援の取り組みをけん引することにつながる。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合)

a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

役員(会員)経営ノウハウを活用することで、職員とは違った経営者目線での支援が可能となる。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合)

b

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

新たな取り組みであり、今後効率的な事業推進に向けて課題を抽出していくこととする。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合

B

有効な取り組みではあるものの、全体の中ではまだまだ小さな取り組みであることから、組織全体に拡大させていく必要がある。

3. 課題

セミナー等を通じて、役員の組織運営に対する参画意識の向上が必要。

4. 今後の対応方針(改善点)

役員のみならず、総代の参画意識を高める仕組みづくりを検討する。